

鉄構海洋事業部若松鉄構海洋センター桥梁工場

1. 概要

若松鉄構海洋センターは、鉄構海洋事業の加工基地として、1969年北九州市に設立され、海洋構造物、続いて各種橋梁、特殊建築を加え、3本柱で、年間約4万トンの生産を加工工場と橋梁工場で行っています。

2. 橋梁工場

一般橋梁の製作は、1970年の工場棟建設後、アメリカのイーストフレモント橋を製作したのが始まりです。

最初の10年間は、歩道橋、H形鋼による梁材のような初歩的なものを中心に、年産1～3千トン程度で推移していましたが、1979年、日本橋梁建設協会への加入を機に加工体制を整備し、1992年には、写真で紹介するような自動化を進め、生産能力を強化しました。

また、2万トン級デッキバージ、4000トン級フローティングクレーンが接岸できる岸壁と650トン吊りの大型移

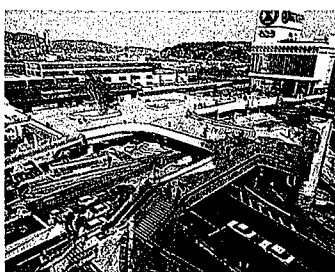


FA化された橋梁工場全景(1, 2棟)

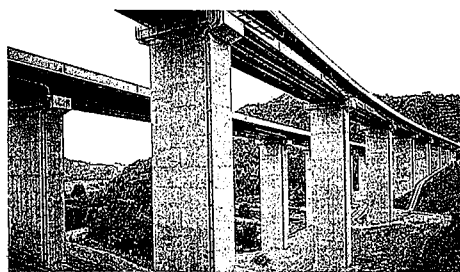
動クレーン、及び120万 m²の広大なヤードを有し、大型の一括架設用橋梁にも対応可能な設備を備えています。

鉄鋼素材、溶接材料等の材料技術を始めとして、製作、工事部門をカバーする豊富な研究陣をバックに、新素材、自動加工技術等への研究開発も積極的に進めており、難易度の高い各種橋梁へ対応する品質向上と、更なる生産効率化にたゆみない最新技術の研鑽と合理化を積み重ねていく所存です。

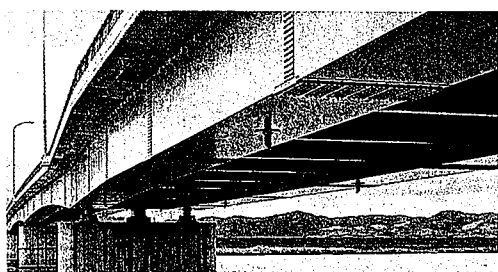
3. 施工実績



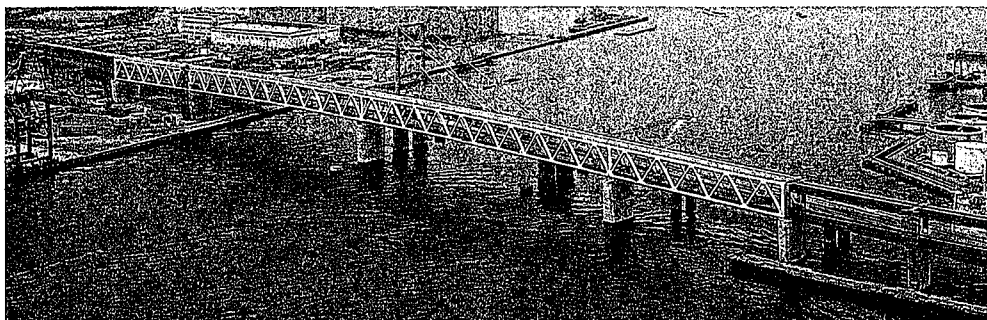
黒崎駅前ペDESTリアンデッキ/発注者 北九州市



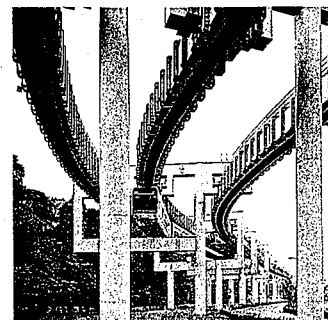
近畿自動車道監本高架橋/発注者 日本道路公団



新遠賀川橋/発注者 福岡県



大黒大橋/発注者 首都高速道路公団



千葉モノレール(懸垂式)/発注者 千葉県

4. 加工設備

